

# テクノグローバル株式会社

## 金型製造をベースに設計、成形、組立をワンストップ化

- 海外注可
- 納期相
- 企画力自信有
- コスト相
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



顧客のコスト削減にもつながるカセット金型

### 業務内容 想いをカタチに

金型製造にとどまらず製品設計から、各種プラスチックの成形加工、製品組立までを一貫して手がけ、特徴的なビジネスモデルを展開する。大手の金型メーカーが樹脂成形を手がける場合はあるが、中小メーカーでは珍しいという。顧客は製品のデザイン、極端に言えば「思い」を伝えれば「カタチ」に仕上げられる具合で、成形品の試作から、金型、製品の成形、加工、組立までを依頼することができる。ワンストップ化で、金型完成までの納期は従来の半分程度になり、顧客にもメリットが大きい。取引先は医療、自動車部品、家電、文具、日用雑貨など幅広い。



本社工場の放電加工機

### 強み カセット金型でコスト30%減

通常、金型は製品ごとに作製するため、作製コストがかさんでしまう。カセット金型はベース部分を共通化し、製品部分の金型（カセット金型）のみを交換するので、「通常の金型に比べ、30%前後はコスト削減できる」と顧客側のメリットを高田弘之社長は強調する。そのカセット金型は48型所有する。金型ポケットサイズは、40mm×60mmから最大300mm×400mmの7種類の規格サイズに対応する。樹脂は汎用、エンジニア樹脂、スーパーエンジニアまで対応可能。金型のみを受注であっても量産化テストも終え、成形時の条件出しができていたため、ユーザーはスムーズに本格

生産に移行できる。社員が金型と樹脂成形に精通しているのが強みである。

### 海外展開 ベトナムで金型製作、将来は成形加工まで

平成26年にはベトナムに進出した。ホーチミン工場は10名体制でホーチミン交通大学の施設を使用している。当初は有力な取引先があって進出した訳ではなく、日本向けに金型部品を作製していた。現地に金型メーカーが少ないことから、日系企業向けに金型を作製するようになり、口コミで取引先が広がっている。現地での材料調達も進み、ベトナムの中で、仕事も回りはじめている。ベトナムは金型製作のみだが、今後は日本と同様に成形までの展開を考えており、日本で行っている設計も、ベトナム人技術者の育成で設計の現地化を進める構想。

### 今後の展望 東南アジア、メキシコへの進出も

ベトナム国内では、早期にハノイに支店を開設する予定。さらにベトナムを拠点として、周辺のタイ、インドネシア、マレーシア、自動車産業が盛んなメキシコでの事業展開を考えている。金型一式を輸送しては重くコストもかかるため、ベトナムからカセット金型の部品を輸出し、共通化するベイス金型の部分は、それぞれの現地で調達する事業モデルを検討する。ホーチミン交通大学とは、学生の教育、技術習得面での協力だけでなく、事業での協業を考えており、例えば、学生が作製にかかった金型を事業化することも視野に入れている。

## COMPANY PROFILE

## テクノグローバル株式会社

大阪 27

### 当社の歴史

平成18年設立以来、多くのものづくりチャレンジにより現在の当社があります。他社が二の足を踏む製品も恐れずチャレンジすることで、多くの技術とノウハウを獲得しています。経営理念でもある『グローバルで認知される企業を目指す』の目標のために、たゆまぬ努力と技術の研鑽を続けます。

お客様の想いをカタチに変え商品化のお手伝いいたします。



代表取締役 高田 弘之さん

■主な事業内容  
製品設計支援、金型製造、成形加工、製品組立

■主な取引先（納入先）  
医療メーカー、自動車部品メーカー、家電メーカー、文具メーカー、日用雑貨メーカー

住所 / 〒581-0055  
八尾市跡部南の町  
1-1-37  
TEL / 072-993-7935  
FAX / 072-993-7936  
創業 / 平成18年10月  
設立 / 平成18年10月  
資本金 / 600万円  
従業員 / 11名

<http://techno-global.jp/>